

昭和五十九年十月三日

トヨタ、カローラに“FX”シリーズを追加設定

—— 先進的で基本性能に優れた“ニューステイトス2ボックス” ——

トヨタ自動車㈱は、大衆乗用車カローラに、2ボックスタイプの“FX”シリーズを追加設定し、十月三日より全国一斉に発売する。

カローラは、昭和四十一年の発売以来、我が国のモータリゼーションの発展に大きな役割を果たしてきた。国内車名別販売台数で十五年連続ベストセラーカー、単一車名としては、我が国初の生産累計一、〇〇〇万台達成など、数々の記録を樹立し、日本を代表する乗用車として多くの方々から愛され親しまれてきている。

追加発売するカローラ“FX”シリーズは、FF方式、2ボックスタイプの乗用車で、近年、スタイル、経済性、居住性などの点で急成長を遂げている大衆2ボックス乗用車市場に対応して開発されたものである。

“FX”シリーズの開発にあたっては、カローラにふさわしい基本性能と車格感を備えた“ニューステイトス2ボックス”をテーマとし、



カローラ 3ドア 1600 FX-GT (E-AE82-EGMQF) '84.10
サイドマッドガード、電動サンルーフ、185/60タイヤ&アルミホイール等はオプション

一、空力特性に優れた若さあふれるスタイリング。

二、広い室内空間と豪華な内装、装備。

三、卓越した動力性能と低燃費を両立したエンジン。

など、若者、女性、ファミリー層の幅広い要請を随所に取り入れた新感覚の2ボックスカーとしている。

また、“FX”シリーズは、本格的2ボックスカーとしては日本で初めてツインカムエンジンを搭載し、若者層などの「FUN TO DRIVE」の要望に応えている。

“FX”シリーズの投入により、カローラは、従来からのFFセダン（4ドア、5ドア）、FRクーペ（2ドア、3ドア）と併せて3つの基本ボディを持つことになり、“世界の最先端をいくベストフィットカー”にふさわしい、一層魅力あふれる商品体系となっている。

〈販売概要〉

一、取り扱い販売店

トヨタカローラ店

（名古屋地区は名古屋トヨタディーゼルでも販売）

二、店頭発表会

十月二十日（土）、二十一日（日）

三、当面の月販目標

“FX”シリーズ 六、〇〇〇台

カローラ乗用車合計 二二、〇〇〇台

なお、“FX”シリーズの主な特長、標準価格、主要諸元は次のとおりである。

以上

◎ 主な特長

一、外 観

- ・空力特性を考慮し、全体を面一ボデーでおおった流麗なデザインを採用、若々しくファッション性に富んだスタイルとしている。空気抵抗係数は $C_d 0.34$ と 2 ボックスカーとしてはトップ水準の値を実現している。
- ・ワイドトレッド、ロングホイールベースの採用により、安定感をもたせるとともに、居住性を向上させている。
- ・フロントは、薄型のフロントグリルにエアカットフラップと一体の大型バンパーを組み合わせ、精悍なスタイルとしている。また、バンパー部に空気孔を設けエンジン冷却性能と空力特性の両立を図るとともに斬新なイメージを打ち出している。
- ・リアは、洗練された個性的なスタイルで、バンパーの真上から開く大きなバックドアにより、荷物の積み降ろしなど使い易いものとしている。
- ・一部グレードに、バンパー、ドアミラー、サイドプロテクションモールなどを外板色と同色化し、さらにエアロパーツ類を装着したスポーティな仕様をセットでオプション設定し、若者層の要望に対応している。

二、内 装

- ・FF車のメリットを生かして、広い居住空間とラゲージスペースを確保するとともに、豪華で使用性の高い内装、装備を施している。
- ・フロントシートは7つの調節機能を持つ7ウェイスポーツシートを採用し、最適なドライビングポジションを得られるようにしている（FX—SR、FX—GT）。
- ・リヤシートは、8段階にリクライニングが調節できる分割可倒式シートを採用し、後部乗員が快適なドライブを楽しめるようになっている（FX—G、FX—GT）。
- ・一部グレードに室内から操作できる2ウェイパッケージトレイ（荷室蓋）や、小もの入れとして便利なふた付フロントボックスなどを採用し、使い易い室内としている。

三、エンジン、ミッション

- ・優れた動力性能と低燃費を両立させた三機種のエンジンを搭載している。

(参考) 搭載エンジン一覧

エンジン名称	型式名	排気量	最高出力	最大トルク
レーザーα4A ツインカム16	4A-GE LU	一、五八七cc	一三〇馬力 (六、六〇〇回転/分)	一五・二kg・m (五、二〇〇回転/分)
レーザー4A- EFI-F	4A-E LU	一、五八七cc	一〇〇馬力 (五、五〇〇回転/分)	一四・〇kg・m (四、〇〇〇回転/分)
レーザー3A- FF	3A-LU	一、四五二cc	八三馬力 (五、六〇〇回転/分)	一二・〇kg・m (三、六〇〇回転/分)

・ヘレーザーα4Aツインカム16(4A-GE LU型、四気筒、一、五八七cc)は、本格的2ボックスカーに搭載のエンジンとしては日本初のツインカムエンジンである(FX-IGTに搭載)。最高出力一三〇馬力(六、六〇〇回転/分)は、大衆^{X2}ボックスカーとしてはトップの動力性能で、俊敏な走りを実現する新世代サスペンション(PEGASUS)の走行性能とあいまって、「FUNCTION DRIVE」の要望に応えるものである。また、ボディ各部に設けたパフォーマンスロッドにより、ボディ剛性を高め、ステアリング操作に対する車両の応答性を向上させている。

・ヘレーザー4A-EFI-F(4A-E LU型、四気筒、一、五八七cc)は、電子制御式燃料噴射装置(EFI-D)などの採用により、高性能、低燃費を高次元で両立させたエンジンである(FX-SRに搭載)。

・ヘレーザー3A-FF(3A-LU型、四気筒、一、四五二cc)は、スワールコントロールバルブ付ヘリカルポートなどの機構を採用した、低燃費、高性能のエンジンである。また、一〇モード燃費は、十七・八km/ℓ(FX-D、ノックコントロール付車、運輸省審査値)と優れた値を実現している。

・FX-Gに燃費性能、走行性能に優れたオーバードライブ付四速フルオートマチックトランスミッションを採用している。また、FX-SR、FX-IGTには、電子制御式四速フルオートマチックトランスミッション(ECTIS)を採用し、エコノミー、パワー、マニュアルの三つの走行パターンの選択により走行状況や路面状況に応じた走りができるようになってい